

単元名 わたしのあさがお(1)

配当時間 11時間

- 単元の目標 (1) 栽培活動を通して、植物も自分たちと同じように生命をもって成長していることや、成長の変化の特徴に気付くことができる。
- (2) 育てている花のことを知り、よりよく育つための世話を工夫したり、植物の変化の様子や成長の喜びを自分なりの方法で表現したりすることができる。
- (3) きれいな花を咲かせたいと願いながら、植物に親しみをもって大切に育てようとしている。

標準的な展開例

01060103_001

【準備等】アサガオの種、栽培用の土、スコップ、植木鉢、じょうろ、肥料、名札、支柱、図鑑、記録カード、ICT機器等

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1～2 アサガオの種を選び、種を観察する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ これまでに植物を育てた経験を話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育園でアサガオを育てました。 ・ 家でお花を育てています。わたしが水やりの係です。 ○ 教科書P. 16～17を見て、これからの学習活動を考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・ アサガオを育てているね。ぼくもやってみたいね。 ・ アサガオってこんなに大きくなるんだね。 ・ 植木鉢に絵を描いているね。すてきだね。 <p>★種を選ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ まきたい種を5粒選ぶ。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 大きい種は大きいアサガオになるのかな。 ・ こんな小さな種からアサガオの花が咲くんだね。 ・ 少しずつ形が違っているよ。 <p>○ 種の記録カードのかき方を知る。 <ul style="list-style-type: none"> ・ このときの気持ちを顔にして描いています。 ・ 日にちと名前は忘れずに書きます。 ・ 自分の指と種の大きさを比べています。 ・ 「たねをもちあげている」「たねのぼうし」がおもしろい言い方だと思いました。 ・ アサガオがしゃべっています。アサガオとお友達になってみたいです。 </p> <p>○ 観察したことを記録カードにかく。 <ul style="list-style-type: none"> ・ どこから芽が出るのかな。 ・ すいかを切ったときの形に見えたよ。 ・ たくさん花を咲かせてね。 ・ 他の花の種と比べてみよう。 ・ 硬くて黒くて小さいね。 </p> <p>3～4 自分の種を準備し、種をまく。</p> <p>★アサガオの種をまこう</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教科書を見て、種をまくときに必要な道具や種のまき方を友達と相談しながら考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 植木鉢の下の方と上の方、どちらにまくと早く芽が出るのかな。 ・ 植木鉢は日がよく当たるところに置いた方がいいのかな。 <p>○ 種まきの仕方を確認し、種をまく。</p> <p>○ これからの世話の仕方について伝え合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 毎日水やりをしよう。 ・ 草が生えてきたら抜いた方がいいね。 ・ 肥料をあげたほうがいいかな。いつあげたらいいかな </p> <p>5 発芽の様子を観察し、観察の仕方を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 芽が出て嬉しい気持ちを分かち合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 芽が出て嬉しかった。 ・ わたしの芽はなかなか出なくて心配だったけど、ちゃんと出てきてくれたよかった。 ・ 小さくてかわいいなと思った。 <p>★芽の様子を観察しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 発芽の様子を観察し、気付いたことを発表する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 芽は小さかったです。 ・ わたしのアサガオは種の帽子を被っています。 ・ 毎日水をあげたから芽が出ました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 身近な経験を発表し合い、植物を育てることの楽しさや喜びを思い出させ、これからの学習の意欲付けをする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 教科書P. 16のイラストを見て、育てたい花をどうしたいのか考えさせてもよい。 ・ 種から栽培を始めることを伝え、種の段階から愛着がもてるような学習にする。 ・ 教科書P. 19やP. 24～25の記録カードを見て、どんなことをかけばよいかを児童に考えさせる。また、表現の仕方や比べ方にも注目させる。 ・ 吹き出しを付けていることにも注目させる。アサガオの気持ちを想像させることで、吹き出しがないときよりもアサガオへの親近感や愛着が湧き、楽しく観察できることに気付かせるとよい。 ・ 記録カードのかき方は、国語科の教科書と関連させてもよい。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 教科書P. 19の写真を見せ、他の植物の種の大きさや形、色などを比較させたい。 ・ 児童の発達段階に応じて、絵のみで表現させてもよい。 <p>【評】種の観察を通して「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 体操服に着替えるなど、外で作業をするときは衛生面にも配慮する。以後も同様に指導する。 ・ 児童に話し合わせた後、教科書P. 21「ものしりのうと」から、種のまき方を学習する。 ・ 土に指を指すときは「ツンツン」、種に土を被せるときは「ふわふわ」など、児童にとって想像しやすい言葉を選んで指導する。 ・ 教室に帰るときには、手洗い・うがいをさせる。以後も同様に指導する。 ・ 児童の生活経験から、水やりなどの世話が必要であることを引き出し、世話の仕方を考えさせる。 <p>【評】種まきの様子や伝え合いを通して「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 多くの児童が発芽した時期に授業時間を設定する。 ・ 児童によって発芽時期が異なるので、世話をすることへの意欲が低下しないように配慮し発芽への期待をもたせるようにする。教科書P. 22～23の優しい言葉を掛けている児童の絵に注目させる。 ・ 最初に気付いたこと、感じたことは十分に共有する時間取るようにする。伝え合うことで、アサガオへの愛着をより深めたり、自分の思いが認められたという満足感を得られた

・芽がいっぱい出て窮屈そう。

- アサガオを詳しく観察するための方法を知る。
 - ・まずはじっくり、次にいろいろな方向から見るんだね
 - ・耳や鼻や手を使って確かめることもできるね。
 - ・比べたり、何かに例えたりしてもおもしろいね。
 - ・教科書P.23の写真を見ると、他のお花の芽と比べることができるね。

6 発芽の様子を詳しく観察し、記録カードにかく。

★自分のアサガオの秘密を見付けよう

- アサガオを観察するときの観点を確認する。

- 楽しく観察するための方法を知る。
 - ・みるみるメガネ（虫眼鏡：より細かい部分まで観察するための道具）
 - ・もしもしフォン（紙コップ：糸電話のように使い、アサガオの心の声を想像するための道具）
- アサガオの観察をする。
 - ・じっくり見たら、アサガオには毛が生えていたよ。
 - ・みるみるメガネを使ったら、毛がしっかりと見えたよ
 - ・どんな匂いがするのかな。
 - ・この葉っぱ、ちょうちょに似ているね。
 - ・もしもしフォンを使ったら、「毎日お水をありがとう」って言っていたよ。
- 観察したことを記録カードにかく。
 - ・芽の間に新しい葉っぱができていたよ。
 - ・触ったら、芽はつるつるしていたよ。
 - ・アサガオさんが、「毎日見てくれてありがとう」って言っていたよ。
 - ・芽が出て嬉しいよ。大きくなってね。
- 気付いたことを発表する。
 - ・〇〇さんと一緒に、ぼくも芽の形がちょうちょに見えたよ。
 - ・他の花の芽と比べたら、アサガオの芽はしわしわだったことに気付いたよ。
 - ・どんなふうに大きくなるのか楽しみだな。

7～8 アサガオの世話について考える。

★アサガオがすくすく育つために、これからどんなお世話をするか考えよう

- どんな世話をしたらよいか考える。
 - ・今まで通り毎日水をあげるとよいです。
 - ・草が生えたら抜いた方がよいと思います。

- 肥料や間引きについて知る。
 - ・間引いた芽は、記録カードに貼りたいな。
 - ・間引いた芽は、新しい植木鉢に植えたいな。
 - ・家に持って帰って育ててみたいな。
 - ・押し花みたいにできるかな。
- 追肥や液肥をあげたり、間引きをしたりする。
 - ・肥料は栄養ドリンクみたいだね。
 - ・間引きをしたから、広がって嬉しそう。

- 感想を伝え合う。
 - ・肥料をあげたから、いつもよりも喜んでいると思います。
 - ・間引きをしてしまって、少し悲しいけど、残ったアサガオにその分がんばってほしいです。
 - ・新しい葉っぱが大きくなると、芽はどうなるのかな。

9 必要に応じて世話をしたり、成長の様子を記録カードにかいたりする。（常時活動を含む）

★アサガオが元氣よく育つために、どんな世話ができるか考えよう

- 困っていることを伝え合う。
 - ・つるが地面に付いてしまいました。
 - ・わたしのつるが、お友達のと絡まりそうです。

りすることをねらい、次の詳しく観察する活動への意欲付けを図る。

- ・教科書P.115「まなびかたずかん」を参考にして、観察の仕方を確認する。

【評】観察の仕方を知る活動から「知識・技能」を評価する。

- ・全員が発芽した時期に、授業時間を設定する

- ・前時で既習している諸感覚を使うことを確認する。
- ・児童がアサガオに対して思いや願いがもてるような指導の工夫をする。声掛けだけでなく思考が深まったり観察がさらに楽しくなったりするような道具を用意するのもよい。

- ・気付いたことは周りの友達に自由に伝え合える雰囲気作りをする。
- ・たとえたり比べたり、自分の思いを表現したりしている児童がいたら称賛し、全体で共有できるようにする。

- ・この時期の児童の実態に合わせ、記録カードは絵と文の両方でかかせる。
- ・記録カードには、吹き出しやハートの枠などを用意し、児童が自然と思いや願いを書き出せるような工夫をするといよい。

- ・友達の発表を聞いて、自分の意見と比べたり付け足したりできるような雰囲気を作り、一人の意見が広がっていくようにするとよい。
- 【評】記録カードや伝え合いを通して「知識・技能」「思考・判断・表現」を評価する。

- ・植えた種のおおよそが発芽した時期に行う。

- ・前時の児童の思いや願いを想起させ、本時の活動につなげるようにする。
- ・教室に園芸の本や植物の図鑑を置いておくなど、児童が自分で世話の仕方を調べられるようにしておく。
- ・児童の自由な発想を受け入れるとともに、今までやっていた世話と新しい世話とを分けて考えさせ、追肥や間引きに興味をもたせる。

- ・肥料を使うときの注意点を伝える。
 - ・間引いた後の芽をどうしたいか考えさせる。命を大切にしようとする意見があれば称賛し学級全体に広げていく。
 - ・間引いた芽のことを悲しんでいる児童がいたら、児童の気持ちを十分に受け止め、植物にも命があることを伝える機会にしたい。
 - ・間引いた芽をどうするかは、児童の思いや願いにできるだけ寄り添えるようにしたい。
 - ・これからも嬉しかったことだけでなく、困ったことも学級で共有し、みんなで解決策を考えていこうとする雰囲気作りをしたい。
- 【評】世話の仕方や気持ちを伝え合う活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。

- ・必要に応じて、つるなどの名称を確認しておく。
- ・最初から支柱を教師が提示するのではなく、

- 困っていることの解決策を伝え合う。
 - ・園では棒を立てていたよ。
 - ・支柱を立てよう。
- アサガオの変化や成長の様子、世話したことを記録カードにかく。
 - ・支柱を立てたら、つるが巻き付いてきました。
 - ・支柱からはみ出しているつるを、優しく支柱に巻き付けたら「ありがとう」と言ってくれました。
- アサガオの様子や気付いたことなどを伝え合う。
 - ・つるは、こんなふうに支柱に巻き付いていました。（動作化で表現）
 - ・アサガオのつるは、何かに巻き付いて伸びようとしていることが分かりました。
 - ・アサガオのつるは、支柱があると上に伸びていけることも分かりました。
- 10～11 開花の喜びを記録カードにかき、伝え合う。
 - 花が咲いて嬉しい気持ちを分かち合う。
 - ・一生懸命育てたので、花が咲いて嬉しかったです。
 - ・毎日水やりをしたから、お花が咲いたと思います。
 - ・これからも、もっともっと大切にしたいと思います。
 - ★きれいに咲いた花を観察しよう
- つぼみや花の様子を観察し、記録カードにかく。
 - ・3つも花が咲いて嬉しいです。ソフトクリームみたいなつぼみを見付けました。
 - ・花びらを触ったらしっとりしていました。花に近づくといい匂いがします。
 - ・アサガオの高さがぼくの首くらいまでになったよ。
- つぼみや花の様子を伝え合う。
 - ・〇〇さんは、つぼみをソフトクリームみたいと言っていただけ、ぼくはロケットに似ていると思います。
 - ・アサガオも、わたしたちみたいに成長するんだね。
 - ・しぼんだアサガオがありました。しぼんだ後はどうなってしまうのかな。
- しぼんだ花で色水作りをする。
 - ・花の色によって、色水の色も変わるんだね。
 - ・しぼんだお花も大切にできてよかったよ。
- 夏休みの世話について話し合う。
 - ・持ち帰って毎日水やりをしたいです。
 - ・夏休みも色水作りをしてみたいです。
 - ・夏休みも咲いたお花の数を数えたいです。
 - ・うちの人も、アサガオの声を聞いてほしいな。

- 児童から困っているという声を引き出し、解決策を考えさせ、児童に自分で植物を育てていると実感させる。
- ・図鑑やこれまでの経験などを基にして、ひらめいたことから解決策を導き出したい。教科書P. 26～27を見せ、支柱のヒントとして使うことも考えられる。
- ・変化に気付きやすくするため、前回の記録カードを見返してから観察させる。
- ・諸感覚を使ったり、観察の思考や楽しさが深まるような道具を使ったりするよう声掛けをする。
- ・自分の気持ちも書くように指導し、アサガオへの親しみを自覚できるようにする。
- ・必要に応じて追肥や草抜きなどの世話をする
- ・親しみと期待の目でアサガオを見つめ、心を寄せながら世話をしている様子が伝わる表現を称賛し、全体へ広げる。
- 【評】観察や記録カード、伝え合いを通して、「知識・技能」「思考・判断・表現」を評価する。
- ・必要に応じて、つぼみなどの名称を確認しておく。
- ・咲いた花の数や色が記録しておけるようなカードを用意しておき、児童が常時活動として取り組めるようにしておく。
- ・咲いた花の数を数えたり、匂いや手触りを確かめたりするなど、開花した花と関わりを深めさせ、開花の喜びを実感させる。
- ・自分の気持ちも書くように指導し、アサガオへの親しみを自覚できるようにする。
- ・教科書P. 29を参考にして、他の植物の花と比べさせ、形や大きさ、色などの違いに気付かせるようにする。
- ・親しみと期待の目でアサガオを見つめ、心を寄せながら観察や世話をしている様子が伝わる表現を称賛し、全体へ広げる。
- ・他の植物の花との比較を通して、アサガオの特徴を確認する。その際、教科書P. 30～31を参考にし、花が咲く様子だけでなくこれまでの記録カードを見せ、芽からの成長の様子を振り返ってもよい。
- ・アサガオもみんなと同じように命があり、成長していくことに気付かせる。
- 【評】観察や伝え合いを通して「知識・技能」「思考・判断・表現」を評価する。
- ・しぼんでしまった花も大切にしたいという意見を児童から引き出し、色水作りにつなげる
- ・夏期休暇中にも、継続的に栽培活動が行えるように家庭にも協力を依頼し、夏休みに鉢を持ち帰らせ、休み明けに植木鉢を持ってくるよう伝える。
- ・夏期休暇中にできた種は、かびないように日陰で十分に乾燥させて紙袋に入れて保管するとよいことも伝える。
- 【評】栽培活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。

【 備 考 】